第46回 京都放射線腫瘍研究会プログラム

日時：平成30年9月1日（土）14:00～

場所：京都ガーデンパレスホテル 2階「葵」

京都市上京区烏丸通下長者町上ル龍前町605 TEL 075-411-0111

会費：2,000円

日本放射線腫瘍学会 (JASTRO) 認定医更新 0.2 単位

日本医学放射線学会 放射線科専門医 認定更新 2 単位 が適用されます

(14:00-14:10)

【製品紹介】「Multiple Brain Mets SRSによる多発性転移性脳腫瘍治療

～5mm MLC 対応についての、現状と今後の展望～

ブレインラボ株式会社 放射線治療ビジネス部 アプリケーションコンサルタント 小島 健吾

(14:10-14:30)

【I部】TOPICS 講演

座長 京都大学 宇藤 恵

「転移性脳腫瘍で求められる抗てんかん薬の特性」

京都大学医学部附属病院 脳神経外科 助教 峰晴 陽平 先生

(14:30-16:00)

【II部】一般演題

座長 神戸市立医療センター中央市民病院 今軍倍敏行

発表時間 1演題 10分(発表6分、質疑4分)

1. 「当院での肺癌定位放射線治療の検討」(14:30-14:40)

倉敷中央病院 放射線治療科

鳥塚大地、君野元規、堤ゆり江、秋元麻未、板坂聡

2. 「肺癌術後、肺内再発に対する定位照射の治療成績」(14:40-14:50)

滋賀県立総合病院 放射線治療科1)、放射線治療部2)

池田 格1)、迫田 万里恵1)、松木 清倫1)、岩崎 甚衛2)、山本 裕之2)、山田 茂樹2)、山内 智香子1)

3. 「当院での原発性肺癌に対する体幹部定位放射線治療の成績」(14:50-15:00)

市立岸和田市民病院 放射線治療科1)・中央放射線部2)・呼吸器センター3)・腫瘍内科4)

大政暁1)、岸徳子1)、清水紀孝2)、中村光宏1)、加藤元一3)、高橋憲一3)、松本和也3)、尾崎智博4)、小倉昌和1)

4. 「当院における肺 SBRT の初期成績」(15:00-15:10)

市立長浜病院 放射線治療センター1)、京都大学医学部附属病院 放射線治療科2)

伏木雅人1)、松尾幸憲2)、川上正邦1)、伊良皆拓2)、平島英明2)、辻雅之1)、西村正明1)、入江桃好1)、杉山順哉1)、安永敏美1)、田邊啓太1)

・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 休 憩 [約 10 分 15:10-15:20] ・・・・・・・・・・・・・・・・

座長 京都大学 小野智博
発表時間 1演題 10分(発表6分、質疑4分)

5. 「当院における肺癌定位照射の成績と線量評価方法の変遷」(15:20-15:30)

近畿大学医学部 放射線腫瘍学

稲田正浩、中松清志、植原拓也、和田祐太郎、福田浩平、石川一樹、土井啓至、金森修一、西村恭昌

6. 「肝細胞癌に対する動体追尾原体照射の初期経験」(15:30-15:40)

京都大学医学部附属病院 放射線治療科

岩井貴寛、飯塚裕介、小野智博、新谷堯、光吉隆真、松尾幸憲、宮部結城、中村光宏、溝脇尚志

7. 「Vero4DRT を用いた前立腺癌に対する IMRT の中期治療成績の検討」(15:40-15:50)

神戸市立医療センター中央市民病院 放射線治療科 1)、京都大学医学部附属病院 放射線治療科 2)

服部貴之 1)、植木一仁 2)、高山賢二 2)、今葦倍敏行 1)、小坂恭弘 1)、小倉健吾 1)、
平岡伸也 1)、緒方隆司 1)、小久保雅樹 1)

8. 「大阪府北部地震による治療装置の“ずれ”とその修正」(15:50-16:00)

美杉会佐藤病院 放射線部 1)、放射線治療科 2)、

京都大学医学部附属病院 放射線治療科 3)

中筋正行 1)、辰野佑哉 1)、中越教介 1)、中濱繁昭 1)、北谷均 1)、寺島学 1)、上田和光 2)、
棕本宜学 3)、高山賢二 3)、河村正 2)

・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 休 憩 [コーヒープレイク 約 15 分 15:50-16:05] ・・・・・・・・・・・・・・・・

(16:05-16:35)

【 III 部 】 症例検討セッション

座長 京都大学 松尾幸憲

「 声門癌の一例 」

市立岸和田市民病院 放射線治療科

小倉昌和、大政暁

(16:35-16:45)

【 IV 部 】 臨床試験紹介セッション

座長 京都大学 松尾幸憲

・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 休 憩 [約 10 分 16:45-16:55] ・・・・・・・・・・・・・・・・

(16:55-17:55)

【特別講演】

座長 京都大学 溝脇尚志

「体幹部定位放射線治療 —大船中央病院発信のコンセプトと最近の知見—」

大船中央病院 放射線治療センター

センター長 武田 篤也 先生

閉会の辞

京都大学 溝脇尚志

* 会の終了後、情報交換会をご用意しております。

当日はご出席いただいた確認のため、ご施設名・ご芳名のご記帳をお願い申し上げます。
ご記帳いただいたご施設名・ご芳名は、医薬品の適正使用情報および医学・薬学に関する情報提供のために利用させていただきます。
何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

【ご講演・ご発表に関するお願い】

日本製薬工業協会は、会員会社が主催ないし共催する講演会等は、演者の講演・発表内容を含めて全て当該会社の責任であり、医療用医薬品プロモーションコードを遵守した上で実施することとしております。
ご講演・ご発表される内容につきましては承認外使用の推奨、他社および他社品の中傷・誹謗とならないよう、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

共催 京都放射線腫瘍研究会

多様な新ニーズに対応する「がん専門医療人材(がんプロフェッショナル)」養成プラン〈高度がん医療を先導するがん医療人養成〉

株式会社バリアンメディカルシステムズ

株式会社たけびし

ブレインラボ株式会社

東洋メディック株式会社

第一三共株式会社